

そうだ! 「産総研」があった!

産総研をパートナーに。

連携のご案内



連携サポートの専門スタッフ

技術を育てるメニュー

事業を育てるメニュー

人材を育てるメニュー

技術を育てたい…
事業を育てたい…
人材を育てたい…

そうだ！
「産総研」があった！

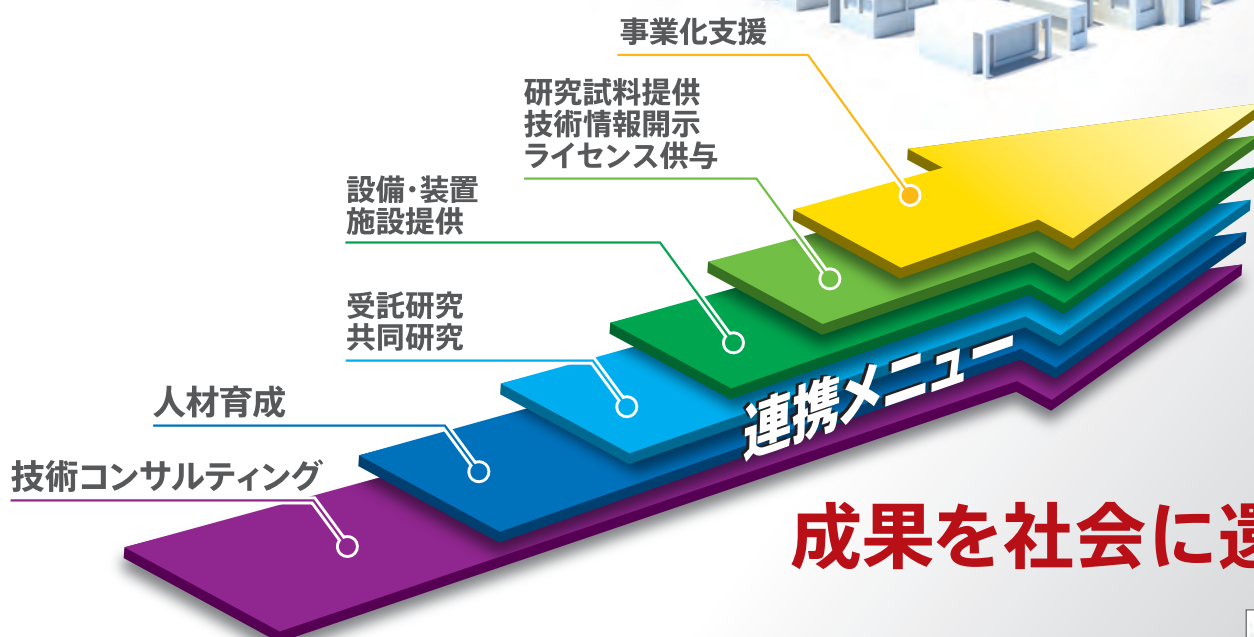


産総研とは

産業技術総合研究所(産総研)は「社会の中で、社会のために」の理念のもと、政府が推進する産業技術・イノベーション政策を、中核となって実施する国立研究開発法人です。7つの研究領域を持ち、つくばセンターをはじめ全国に11か所の研究拠点をおく日本最大級の公的研究機関として、産総研の総合力を生かし、「世界に先駆けた社会課題の解決と経済成長・産業競争力の強化に貢献するイノベーションの創出」をミッションに掲げ、各種の活動を推進しています。

総合力で課題解決

基礎から応用まで、様々なステージで
企業の皆様をサポートいたします。



成果を社会に還元

https://www.aist.go.jp/aist_j/collab/



連携をサポートする専門スタッフが 3つのメニューで皆様をお待ちしております。

最適な連携へご案内



連携サポートの専門スタッフ

私達が直接サポートします！

連携サポートの専門スタッフ。
各分野のエキスパートが担当！



1. 技術を育てるメニュー

一緒に技術開発！

技術開発、ビジネスモデル構築に貢献します。



2. 事業を育てるメニュー

新事業創出や事業強化を支援します！

開発資金や税制優遇を活用してください。
産総研の知財や設備もお使いいただけます。



3. 人材を育てるメニュー

高度技術系人材を育てます！

技術力の向上を支援します。
即戦力の博士人材を育成しています。

連携サポートの専門スタッフ

私達がサポートさせていただきます ～イノベーションコーディネータなどの紹介～



内藤 茂樹
エネルギー・環境領域

エネルギー・環境問題の解決を目指し、産業界・関係省庁・大学と連携して研究開発に取り組んでいます。



浅野 朋広
情報・人間工学領域

産業競争力の強化と豊かで持続的な社会の実現を目指し、人間中心のデジタル技術、人間工学技術などの社会実装に取り組んでいます。



新間 陽一
生命工学領域

糖鎖、幹細胞、創薬・診断、医療機器、バイオものづくり等において、共同研究プロジェクトの設立・推進をします。



井上 貴仁
材料・化学領域

材料・化学系の研究開発の経験と専門知識を活かして、産業界の皆様の課題解決や新たな価値とビジネスの創出に貢献します。



小森 和弘
エレクトロニクス・製造領域

社会課題の解決に向けて、情報処理のエネルギー効率を飛躍的に向上させるデバイス・回路技術等の研究開発、さらにイノベーション推進戦略企画と大型連携プロジェクト化活動を推進しています。



斎藤 眞
地質調査総合センター

産業立地・地質災害の軽減・資源エネルギー開発・環境保全に必要な地質情報を提供しています。



高辻 利之
計量標準総合センター

正確な計測と的確な分析が研究開発力のワンランクアップに導きます。お気軽にお声掛けください。



全国200名の “コンシェルジュ”が 様々なご要望をお聞きます



近藤 道雄
エネルギー・環境領域、
福島再生可能エネルギー研究所

ゼロエミッション実現のため、国際的な協力関係の構築・産業界との連携により革新的環境イノベーションの創出を目指します。



西井 龍五
情報・人間工学領域、
臨海副都心センター

民間企業での研究開発・事業経験を活かし、臨海副都心センターのAI・IT技術の社会実装を目指し、産業界との連携を推進しています。



岡田 道哉
TIA推進センター

TIAは、世界最高水準の研究インフラをコアとして、産総研、NIMS、筑波大、KEK、東大、東北大が連携し、産業界と協力してオープンイノベーションを推進すると共に、若手人材の育成に取り組んでいます。



永石 博志
北海道センター

北海道センターではバイオものづくり研究を推進すると共に、地域企業と産総研の連携を推進しています。



https://www.aist.go.jp/aist_j/collab/coordinator/



南條 弘
東北センター

東北地方特産の粘土の広範な用途開発をはじめ、地域と連携して化学支援ものづくりで産業基盤の強化と震災復興を目指します。



坪田 年
関西センター、福井サイト

公設試での経験を生かし、関西センターを拠点に産総研をより身近に感じていただけるよう取り組んで参ります。



吉村 和記
中部センター

産総研材料シーズの産業界への橋渡しとともに、モビリティ関連材料を中心に、中部地域の産学官連携を推進してまいります。



三島 康史
中国センター、
中国経済産業局

研究領域・分野に拘らず、中国地域の産業界の声をよく聞き、課題解決のための連携に取り組めます。



大家 利彦
四国センター、
生命工学領域、
四国経済産業局

四国地域の企業の課題と産総研シーズ等とのマッチングによる新たな価値創造を図り、地方創生に貢献します。



綾 信博
イノベーション推進本部

ビジネスのプロである企業と産総研の様々な領域の研究者を結び付けて、人の輪(和)をつなげ、関わる人、組織の皆にメリットがある「win-win」の連携の構築を目指します。



坂本 満
九州センター

九州・沖縄地域を中心に地域産業界と産総研との密な結びつきの醸成と連携強化に取り組めます。



黒島 光昭
イノベーション推進本部

国内外研究機関、民間企業、金融ベンチャーでの経験を活かし、幅広い分野での外部連携に取り組んでいます。

コンシェルジュとは？

具体的な相談でなくても構いません。なんでもご連絡ください。

イノベーションコーディネータ

- 通称“IC”。全国の拠点で活動しています。
- 皆様と産総研との連携プロジェクト(共同研究や受託研究、協力協定等)の企画・調整・立案を行います。
- 企業等のニーズと産総研の有する技術シーズのマッチングを行います。

中小企業連携コーディネータ

- 通称“SCET(すけつと)”。技術相談にお応えします。
- 特に中小企業や地域未来牽引企業の皆様に対して、産総研との共同研究や技術コンサルティングなどの仲立ちを行います。
- 外部研究資金(サポイン、A-STEP、自治体の補助事業など)の獲得に向けた提案支援等を行います。

技術移転マネージャー

- つくばセンター、関西センターで活動しています。
- 産総研が保有する技術、ノウハウ等の知的財産を使っていたくためのお手伝いをします。
- 科学、技術、ならびに知的財産に関する法務や契約に精通しています。

多彩な連携スタッフ

- 知財オフィサー:研究成果の知財化、知財調査・戦略策定などを行っています。通称“IPO”。
- 標準化オフィサー:研究成果の標準化、標準化戦略の策定などを行っています。通称“SO”。
- 連携主幹:IC・IPO・SOとともに連携・成果活用を支援します。
- スタートアップ・コーディネータ:産総研研究者と協力し技術シーズの実用化を支援する、経験豊富なベンチャー創業の専門家です。

1. 技術を育てるメニュー

技術コンサルティング

直面する技術的な課題の解決に向けて、最適なソリューションを提供します

最先端の研究開発で培った技術力を活かし、「技術アドバイザー」や「事業化サポート」など、ステージに応じた多様なコンサルティング・サービスを提供します。



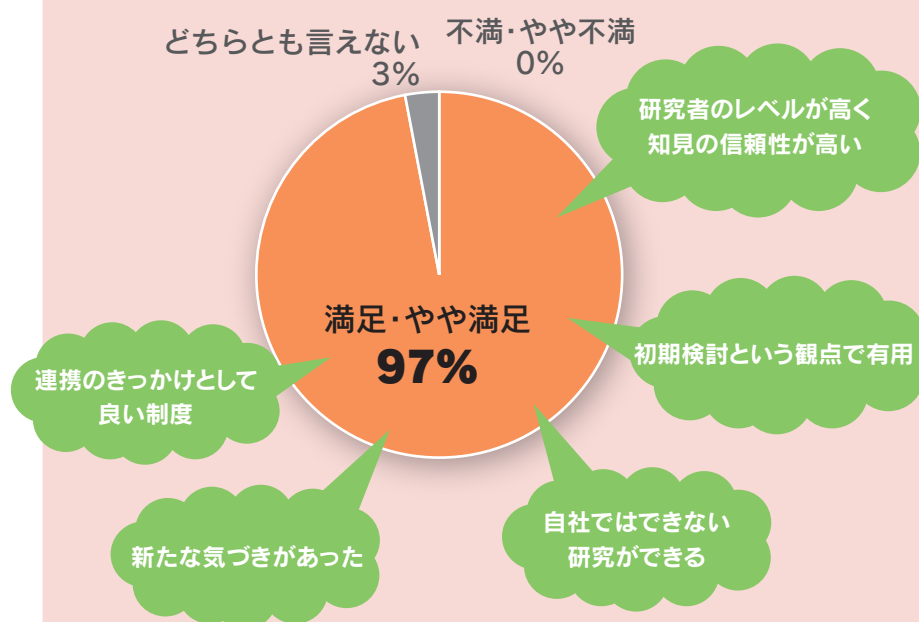
<https://unit.aist.go.jp/colproc/consulting/>



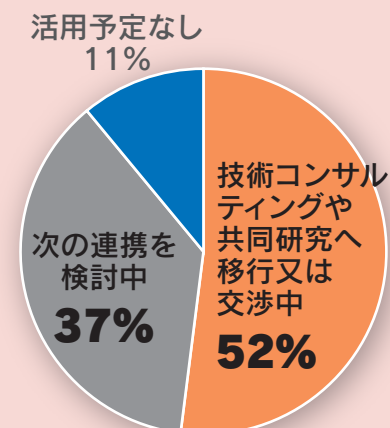
満足度調査結果

技術コンサルティング制度利用者へ実施した満足度調査結果

Q.技術コンサルティング制度の総合的な満足度は？



Q. 契約終了後の弊所との連携状況は？



※2018年11月から2019年7月末までの調査結果。回答数201件。

共同研究

産総研の技術シーズを活用し、一緒に研究開発を行います

- 共通の研究テーマを設定し、一緒に研究開発を行います。
- 研究テーマに応じて、イノベーションコーディネータ等が最適な研究実施体制を構築します。

様々なかたちでの共同研究が可能です

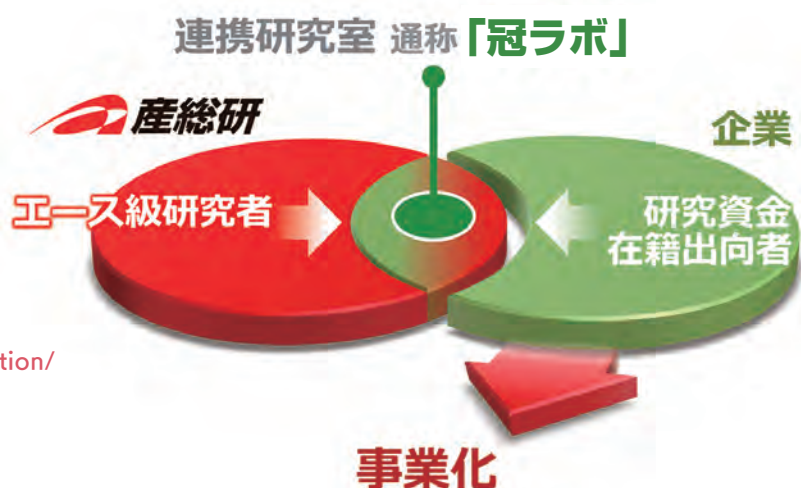
研究員の相互派遣、産総研施設の賃貸借等が可能です。
加えて以下の共同研究を用意しています。

- 研究装置等提供型共同研究
企業が研究装置等を産総研に提供して行う共同研究
- 人材移籍型共同研究
企業が産総研に人件費等を提供し、企業研究者が身分を産総研に移して行う共同研究
- イノベーションコンソーシアム型共同研究
コンソーシアムを形成する大型の共同研究



パートナー企業名を冠した「連携研究室(通称“冠ラボ”)」

- 産総研は2016年度から、企業のニーズに、より特化した研究開発を実施するため、その企業を「パートナー企業」と呼び、パートナー企業名を冠した連携研究室(冠ラボ)を産総研内に設置しています。
- 研究成果の事業化・産業化に強いコミットメントを示す企業と、これまで以上に密接な連携を図ります。
(2021年1月時点延べ設置数:18)



https://www.aist.go.jp/aist_j/information/organization/kammuri_lab/

受託研究

産総研の技術シーズを活用し、研究開発を行います

- 皆様から受託した研究テーマについて、産総研が研究開発を行います。
- 企業が持ち合わせていない技術分野に研究を進めることができ、時間・費用の節約などにつながります。
- 受託研究終了時には、依頼された皆様に対し、研究成果及び受託研究費の使用実績を報告します。



1. 技術を育てるメニュー

連携事例

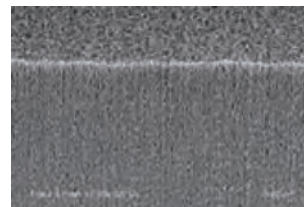
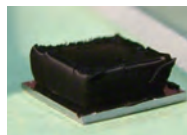
企業様の声

①

日本ゼオン株式会社 荒川 公平氏

産総研との二人三脚で、単層カーボンナノチューブ(CNT)の実用化が実現

2004年に産総研が開発したスーパーグロース法の新聞記事で単層CNTを効率的に合成できる素晴らしい技術だと感動しました。その産総研からの共同研究の誘いに乗るべきだと確信し、NEDOプロに参加し、産総研の実証プラントが実用化の第一歩につながりました。今後も産総研には、魅力的な技術シーズを開発していただきたいと考えております。



スーパーグロース法によって合成されたCNT



企業様の声

②

コスモ・バイオ株式会社 櫻井 治久氏

鶏卵バイオリクターを用いたタンパク質製造

鶏卵バイオリクターを用いた組換えタンパク質の製造法は、従来法と比較して、安価且つ大量に組換えタンパク質を製造することができます。しかし、その反面、高度な技術が必要となります。当社では、産総研から手厚い技術サポートを受け、鶏卵バイオリクターを用いた組換えタンパク質の受託製造を開始することができました。この連携により新たな市場の創造に貢献いたします。



https://www.aist.go.jp/aist_j/collab/results/



<https://unit.aist.go.jp/regcol/seika/seika.html>

税額控除措置

オープンイノベーション型 税額控除制度

企業が他の法人との共同研究又は委託研究に要した費用に一定の控除率(20~30%)を乗じた額を法人税額から控除できる制度です。産総研等の国立研究開発法人又は国の研究機関が相手の場合は、控除率が30%となります。また、控除上限額は、2019年度より、法人税額の5%から10%に引き上げられました。

質問 具体的な計算方法は、どのようなイメージでしょうか？

事業年度: 2019年4月1日~2020年3月31日
産総研との共同研究に要した特別試験研究費(認定額): 2,000万円
法人税: 7,000万円

税額控除上限額: $7,000万円 \times 10\% = 700万円$
税額控除額: $2,000万円 \times 30\% = 600万円$

法人税の特別控除税額は、 $700万円 > 600万円$ ∴ 600万円

国内ネットワーク

産総研イノベーションコーディネータ(産総研IC)

100名を超える全国の公設試等の職員、OBが産総研イノベーションコーディネータ(産総研IC)として、地域企業のニーズと産総研のシーズを結びつける橋渡しを推進しています。



<https://unit.aist.go.jp/regcol/aistic/>

産総研と公設試の協働

産総研 × 公設試

全国をカバーするサービス提供に向けたマーケティング



オープンイノベーションラボラトリ:OIL

- 大学のキャンパス内に設置した産学官連携研究拠点です。
(2020年12月現在、10拠点設置)
- 基礎研究、応用研究、開発・実証を切れ目なく実施します。
- 大学教員と産総研研究員を兼ねるクロスアポイントメント制度などの活用により、研究を加速します。
- 大学院生を産総研リサーチアシスタントとして雇用し、産業界で活躍できる幅広い視野を持った実践的博士人材を育成します。

オープンイノベーションラボラトリ クロスアポイントメント / リサーチアシスタント



https://www.aist.go.jp/aist_j/information/organization/oil/

国際ネットワーク

産総研が包括・個別研究協力覚書を締結している国・地域

産総研は海外機関と27の包括覚書、43の個別覚書を締結しています。(2020年10月現在)
この国際ネットワークを活用して様々な海外連携を実現しています。



1. 技術を育てるメニュー

産総研コンソーシアム

新たな市場を産総研と共に！

- 産総研が会員を募り、様々な企業と一体となって、テーマ別の研究会(産総研コンソーシアム)を運営しています。
- 最新技術をコアとして、技術応用の可能性を探ることで、研究開発の推進および新たな市場の開拓を目指します。
- 最新の研究成果に触れることができます。
- 43のコンソーシアム(2020年10月1日現在)が活動しています。

<https://unit.aist.go.jp/cpiad/consortium.html>



産総研コンソーシアム

コンソーシアムの例



「人」が主役となるものづくり革新推進コンソーシアム(HCMIコンソ)

生産年齢人口減少、変種変量生産への対応等の課題解決に向け、新たなものづくりの仕組みに向けた活動を進めています。

- 「人」と機械が協調し、柔軟・効率的な生産手法
- 「熟練者の経験や勘」を効率よく伝承する手法
- 作業者に応じた個々の能力を発揮できるQoW(Quality of Working)の向上



東京湾岸ゼロエミッションイノベーション協議会(ゼロエミベイ)

- 東京湾岸を世界初のゼロエミッション・イノベーション・エリア(ゼロエミッション版シリコンバレー)とすることを目指し、その構想を推進しています。
- 活動情報を含むエリアマップ(ゼロエミベイマップ)の作成・発信、研究開発・実証プロジェクトの企画・推進、会員間の情報交換・連携の推進等の活動を行っています。



LCA活用推進コンソーシアム

- 脱炭素イノベーションの普及に向け、ライフサイクルおよびバリューチェーンを考慮した環境負荷評価手法(LCA)の知見・議論の場を提供します。

データベース

産総研の最新技術などの情報をWebページで公開しています。

テクノブリッジ® On the Web
～産総研とつながる～

<https://technobridge.aist.go.jp/>



産総研の最新技術(現在、2,500件以上)を紹介する情報サイトです。詳細の閲覧には登録(無料)が必要です。



テクノブリッジ® On the Web.産総研の最新技術と研究者の声をお届けします。

産総研で公開しているデータベース一覧

●研究情報公開データベース一覧

産業や社会の「安全・安心」を支える基盤整備のためのデータベースで研究開発プロジェクト等で蓄積された研究情報(成果)を公開しています。

●産総研論文検索システム

産総研の研究者が発表した論文を検索できます。

https://www.aist.go.jp/aist_j/aist_repository/



2. 事業を育てるメニュー

事業化支援

ベンチャーの創出から事業強化まで 新産業の創造を推進します

- 企業のシーズも産総研でブラッシュアップできます。
- 事業化するにはリスクが高いシーズでも、産総研の技術や人材を活用して事業化の可能性を追求します。
- スタートアップ・コーディネータが、ビジネスプランの策定・経営面のサポート等、ベンチャー創業に向けた協力を行います。



産業技術総合研究所が創出・支援するベンチャービジネス

産総研技術移転ベンチャーを紹介する特設サイト
「TECH Meets BUSINESS」



<https://unit.aist.go.jp/inncs/tmb/>

産総研技術移転ベンチャーの例



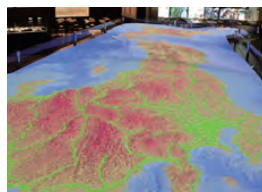
(株)AiCAN

AIを活用し児童虐待の対応にあたる児童相談所職員の判断の質の向上と業務効率化に貢献



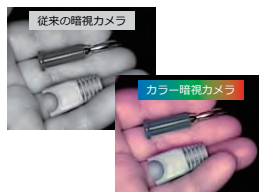
Hmcomm(株)

音声認識技術と異音・環境音認識技術を活用し、様々な分野で「音」によるソリューションを提供



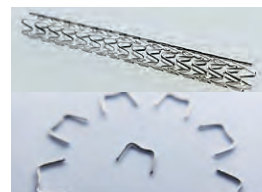
地球科学可視化技術研究所(株)

プロジェクションマッピングで3次元模型に地質・土地利用など各種情報を精密に投影し教育・研究に活用



(株)ナノルクス

暗闇でもカラー撮影を可能にする「赤外線カラー暗視技術」によって安心・安全な社会に貢献



メルフロンティア(株)

日本初のマグネシウム合金を用いた生体吸収性医療機器の製品化

技術移転

産総研の知的財産をご利用いただけます

- 研究試料提供、技術情報開示等のサービスを通じ、産総研の研究成果について実用化の可能性を評価いただけます。
- 技術移転マネージャーが、ライセンスに関する技術相談や技術評価、ライセンス締結までをサポートします。
- 必要に応じて、ライセンス供与、共同研究などの連携メニューを紹介します。

研究試料提供

産総研の研究成果を研究サンプルとしてお試しいただける形で提供します。

技術情報開示

産総研の未公開の特許明細書や技術ノウハウ、プログラム等を開示します。

ライセンス供与

新たな製品開発や技術的課題の解決のために、産総研の知的財産をご利用いただけます。



事業化支援・技術移転 詳細情報:

https://www.aist.go.jp/aist_j/collab/patent/patent/tlo.html



製品開発・事業化



企業

研究試料
提供

技術情報
開示

ライセンス
供与

2. 事業を育てるメニュー

標準化

標準化推進センター

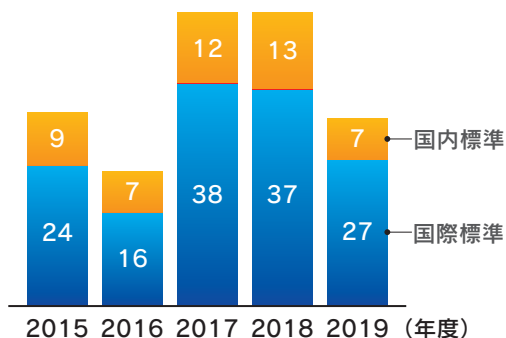
「標準化」を活用した新たなビジネスモデル構築をお手伝いします。
技術や製品、サービスの普及に必要な制度や規格を、開発の初期段階から並行して検討することにより、事業戦略の強化につながります。

- 知的財産の一層の活用、市場拡大や海外展開を、産総研が持つ「標準化」のノウハウを生かして支援します。(日本からの国際標準化提案では7分の1以上、国内標準(JIS)の提案では4分の1以上について、産総研が支援しています。)
- 「標準化活用支援パートナーシップ制度」のパートナー機関として、日本規格協会と連携し、中堅・中小企業等の優れた技術・製品の標準化にかかる技術的・専門的な支援を行います。

<https://unit.aist.go.jp/stapc/>



標準化提案件数の推移



デジタルアーキテクチャ推進センター

- 社会実装までを考慮したデジタル・サービスの参照アーキテクチャに関する研究開発と標準化を目指します。
- 政策的ニーズと産業界ニーズに基づき必要となる研究・技術開発、技術評価、ソフトウェア実装、標準化を国内外の関連機関と連携し推進します。

<https://www.dapc.aist.go.jp/>



産総研OSL(産学官連携共同研究施設)

産総研との連携強化やイノベーション創出の拠点にご活用ください

- 産総研の技術ポテンシャルを活用した先端研究や新製品の開発、新産業の創出の拠点としてご活用いただけます。
- 産総研内に研究室を開設して研究者間の連携を深めていただくことにより、技術力の強化、研究開発の加速化につながります。
- 技術コンサルティング、共同研究など、産総研との継続的なコラボレーションを通じての事業拡大、イノベーションの創出にお役立てください。

https://www.aist.go.jp/aist_j/collab/osl/



全国6か所の拠点に設置した連携専用スペース



設備・装置・施設

産総研の設備・装置・施設を利用して研究開発、試験評価およびサンプル作製が可能です

<https://unit.aist.go.jp/tia-co/orp/>



https://www.aist.go.jp/fukushima/ja/outline/smart_system/

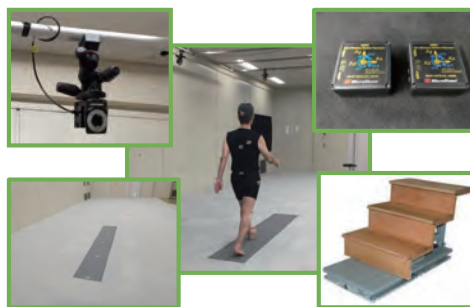


「代表的な共用施設」

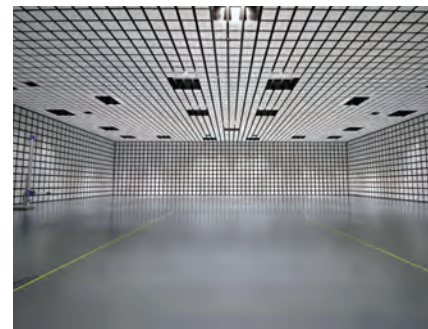
スーパークリーンルーム(SCR)
【つくば西】



身体動作解析産業プラットフォーム
(MAP) 【四国】



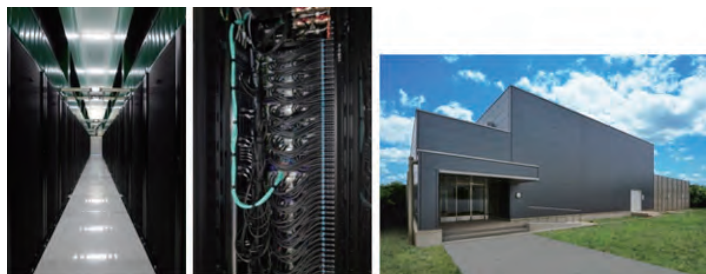
スマートシステム研究棟
(大型電波暗室) 【福島】



ABCI: 産総研の最先端スーパーコンピュータが利用可能です

ABCI(AI橋渡しクラウド、AI Bridging Cloud Infrastructure)は、産総研が構築・運用する、世界最大規模の人工知能処理向け計算インフラストラクチャです。
利用者向け講習会・セミナーも開催しています。

<https://abci.ai/ja/>



試験・分析・校正

装置などの試験・分析・校正を行っています

鉱工業の科学技術に係る試験・分析・校正

- 火薬類の試験
- 糖鎖分析
- 基準太陽電池セルの校正

<https://unit.aist.go.jp/stapc/iraishiken/>



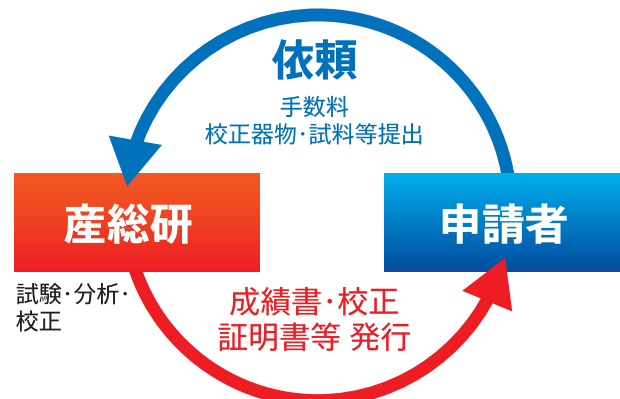
計量標準に係る試験・校正・標準物質

- 計量標準の維持・開発・供給
- 先端技術産業のための新しい計量標準開発
- 国民生活の安全安心を支える計量標準

<https://unit.aist.go.jp/nmij/>



自社の技術や製品の品質を、公に認められた試験方法や基準により証明することができます。



3. 人材を育てるメニュー

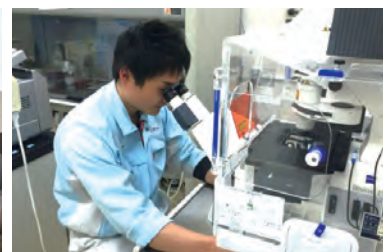
イノベーションスクール

オープンイノベーションの担い手となる 若手博士人材を育成します

- 博士研究員と大学院学生を対象に、産業界での活躍を目指す若手人材を育成し、社会へ輩出します。
- 長期企業研修を含むカリキュラムを運営しています。
- 共同研究との連携が可能です。



講義・演習



企業での研修

<https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/>



デザインスクール

未来社会を創造する “共創型次世代リーダー”を育成する場

これからの社会で本当に必要とされること(共通善)を探究するため2018年に立ち上げました。ここでは、デンマークのKAOSPILOTと連携しながら、「軸力」「探索力」「共創力」「実践力」を育成するため、企業と産総研の研究者が其々十数名が、お互いの垣根を越え、6か月の間に週1日、未来洞察手法、システム思考、デザイン思考、アート思考などのカリキュラムを行い、柏の葉等の社会課題解決を題材に議論します。



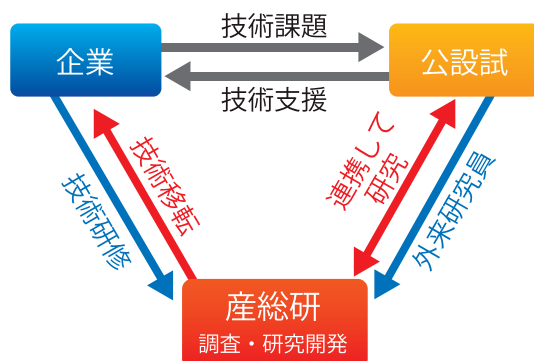
<http://plus-sdesign.jp/>



地域産業活性化人材育成事業

地域産業活性化に向けて、公設試の皆様と連携して研究開発を行います

産総研の技術シーズを活用した企業ニーズへの対応や技術課題を解決するため、公設試の研究者・技術者を招へいし、共同で研究開発を行います。2019年度までに、延べ200名近くの参加実績があります。また、本事業の研究開発には、企業の研究者・技術者にもご参加いただけます。



人材育成プログラム

Nanotech CUPAL

ナノテクノロジーに関する高度な専門知識および最先端研究機器等に係るノウハウを駆使した多様な実践的トレーニングコースにより、イノベーション創出を牽引するプロフェッショナル(Nanotech Innovation Professional)を育成します。



TIA 連携大学院 サマー・オープン・フェスティバル

筑波大学と連携して短期のスクールを開催しています。産総研ではパワーエレクトロニクス、ナノエレクトロニクス、MEMS、バイオの4分野で、学生や若手研究者が最新の知識と技術を修得し、分野横断的な交流を促進しています。



リサーチアシスタント

金の卵を育てます

- 優れた研究開発能力を持つ大学院生を産総研で雇用します。
- 社会ニーズの高い研究開発プロジェクトに参画します。
- 企業との共同研究にも参画が可能です。
- 産総研で育った多様な人材が社会で活躍しています。
(2019年度採用実績 61大学409名を採用)

技術研修

ライバルと差をつける技術力を 習得できます

- 研究者・技術者・学生を対象に産総研の持つ最先端の技術を習得する機会を提供しています。
(2019年度実績 1,618名)
- 【実施している技術研修の例】
- ・電子顕微鏡を用いた実験技術の習得
- ・質量分析器を用いた分析手法の習得

地質研修:ジオ・スクール

地質調査総合センターの成果普及と技術継承のため、各種研修・講習等を実施しています

- 企業・自治体職員・大学関係者向け研修
- 高校生・大学生向け実習
- 海外技術者向け地質調査技術研修

<https://www.gsj.jp/geoschool/>



計量研修

国内唯一の計量研修センターで 計量技術者を育成します

- 計量行政機関等の職員の教育・啓発
- 計量士の資格取得を目的とする研修

[教習内容]

一般計量教習、一般計量特別教習

環境計量特別教習(濃度関係)

環境計量特別教習(騒音・振動関係) 他

<https://unit.aist.go.jp/qualmanmet/metroltrain/>



騒音振動教習

産総研の技術相談窓口一覧

https://www.aist.go.jp/aist_j/collab/window/

産総研は、北海道から九州まで地域センターを展開しておりますので、最寄の地域センター産学官連携推進室でも研究開発や技術相談に関するご相談を受け付けております。



◀このQRコードでHPをご覧ください。

●北海道センター

〒062-8517 北海道札幌市豊平区月寒東2条17-2-1

Tel: 011-857-8406

(札幌大通りサイト)

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西5-8 昭和ビル7F

Tel: 011-219-3359

●東北センター

〒983-8551 宮城県仙台市宮城野区苦竹4-2-1

Tel: 022-237-0936

●福島再生可能エネルギー研究所

〒963-0298 福島県郡山市待池台2-2-9

Tel: 024-963-0813

●柏センター

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-3 東京大学柏IIキャンパス内

Tel: 04-7132-8861

●臨海副都心センター

〒135-0064 東京都江東区青海2-3-26

Tel: 03-3599-8006

●つくばセンター

〒305-8560 茨城県つくば市梅園1-1-1 中央第1

つくば本部・情報技術共同研究棟

Tel: 029-862-6201 (地域連携部)



●四国センター

〒761-0395 香川県高松市林町2217-14

Tel: 087-869-3530

●九州センター

〒841-0052 佐賀県鳥栖市宿町807-1

Tel: 0942-81-3606

(福岡サイト)

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-13-24

一般財団法人九州オープンイノベーションセンター内2F

Tel: 092-292-5051

●中部センター

〒463-8560 愛知県名古屋市中村区守山区

下志段味穴ヶ洞2266-98

Tel: 052-736-7370

(名古屋駅前サイト)

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38

愛知県産業労働センター(ウイंकあいち)15F

Tel: 052-583-6454

●石川サイト

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2-1

石川県工業試験場 新分野創造開発支援センター2F

Tel: 076-268-3383

●関西センター

〒563-8577 大阪府池田市緑丘1-8-31

Tel: 072-751-9606

●福井サイト

〒910-0102 福井県福井市川合鷺塚町61字北稲田10

福井県工業技術センター管理棟2F

Tel: 0776-55-0152

●中国センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-11-32

Tel: 082-420-8245

国立研究開発法人

産業技術総合研究所

発行：イノベーション推進本部

〒305-8560 茨城県つくば市梅園1-1-1 中央第1

つくば本部・情報技術共同研究棟

2021年2月発行